

謹 賀 新 年



～ 本年も宜しくお願い致します～



ふるさと

第四十七号
特別養護老人ホーム
アミーキ

アミーキ神社に参拝しました。おみくじの結果は・・・



干支の作品を作りました。ユニットに飾りました。



書初めに挑戦しました。皆の真剣な表情です。



2A「利用者様の日常の様子」



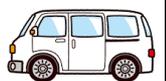
2Aユニットでは、秋からメダカの飼育を始めました。利用者様からは「小さくて可愛いね。」等の声が聞かれています。また餌やりを行って頂き、食べている様子を真剣な表情で鑑賞されています。

他にもプランタや室内で植物を育てており、緑が多いユニットです。利用者様と一緒にプランターへお花を植えた際には、「綺麗だね」と仰っていました。水やりなどのお世話を手伝って頂きながら穏やかな時間を過ごしています。普段は口数の少ない方も、お花やメダカの話になると饒舌になりこちらも色々教えて頂いています。

これからも皆さんの興味のある事を普段の生活の中に取り入れながら、楽しい日々を過ごして頂けるように工夫をしていきたいと思っております。

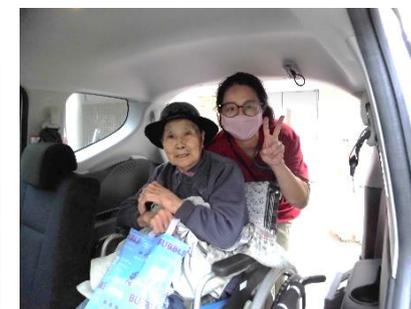


2B「ドライブ」



新型コロナウイルスの世界的流行により、気軽に外出することが躊躇される日々が続きます。外出する機会が少なくなりました利用者様の皆様からリクエストを受け、感染対策をしっかり行い、ドライブに出かけました。ドライブコースが地元の方も多数参加されており、車中では若かりし頃の思い出話や、地元ならではの話題で盛り上がりつつあり、中には久しぶりの外出に感極まり涙される方もいらっしゃったほどでした。外気に触れ、社会や故郷に触れることの大切さを改めて実感させていただく機会となりました。

更なる社会や故郷との交流ができるよう、一日も早い新型コロナウイルスの収束を願っております。





1A 「クリスマス会」



1Aユニットでは十二月二十三日にクリスマス会を行いました。初めにクリスマスにちなんだお話をし、サンタとトナカイに扮した職員が日頃の感謝の気持ちを込めてプレゼントをお渡ししました。「ありがと」「うれしい」との声が聞かれ、感激のあまりプレゼントを握りしめている利用者様も見られました。

その後は記念撮影と、ロールケーキに各自が好きなように色々な種類のフルーツとお菓子をトッピングされ、オリジナルのクリスマスケーキを召し上がられていました。

クリスマスという楽しいイベントの時間を共有でき、笑顔にあふれた素敵なひとときを過ごすことができました。



1B 「ツリーケーキ作り」



1Bユニットではクリスマスを感じて頂くこと、皆さんと一緒にツリーケーキ作りを行いました。

ホットケーキの生地が焼けてくるユニット内に甘い香りが広がり、「もう焼けたんじゃない?」「早くひっくり返さない」と等、皆様楽しまれながら生地作りを行って下さいました。焼けた生地をクリスマスツリーに見立てバナナや白桃等のフルーツや生クリームで飾り付けをして頂き、仕上げにチョコスプレーでカラフルにデコレーションをしてツリーケーキができました。「食べるのが勿体ないね」「生クリームの甘さがちょうどいいね」と、皆さん美味しく召し上がりながら、クリスマスを感じながら楽しいひとときを過ごしました。





2C「クリスマス会」



2Cユニットでは、十二月二十五日にクリスマス会を実施しました。十二月の中旬からリビングや廊下にクリスマスツリーやリースの飾り付けを行い、徐々に近づくとクリスマスの雰囲気を楽しんでいただきました。当日のクリスマス会では、飾り付けの他に、音楽をかけて楽しんで頂きました。クリスマスプレゼントはユニットの職員が各利用者様に合ったプレゼントを用意し、お渡しさせて頂きました。皆さん大変喜ばれ、たくさんの笑顔を見ることができました。サンタクロースと一緒に写真を撮ったり、風食にはクリスマスメニュー、おやつにはクリスマスケーキを食べたりと、クリスマスを堪能した一日となりました。



1C「元日の様子」



1Cユニットの元日は、アミーキ神社への初詣と、お正月らしく書き初めを行いました。
アミーキ神社へのお参りは毎年の恒例行事で、医務室前に作られた特製の神社で一年間の無病息災を祈願されました。お参りの後はおみくじを引き、今年最初の運試しを楽しみました。
午後には書き初めを行い、「正月」や「元旦」等、お正月にちなんだ文字を書かれました。普段、文章を書く機会が少ないため、利用者様からは、「久しぶりに筆を持ったよ」と書き初めを楽しまれました。





炭火で焼き芋作り



温かくて
美味しかったよ～



松ぼっくりツリー



お正月飾り「生け花」の会



季節感のある花を自由に生けていただきました。とても華やかに仕上がりました。



お品書き

海老のうま煮
 きの塩焼き
 大根十二支
 紅白かまぼこ
 数の子
 紅白なます
 黒豆
 ちよろぎ
 栗きんとん
 水羊羹(抹茶)
 昆布巻き
 松風焼き
 お煮メ
 (里芋 椎茸 花人参)



栄養科より

「クリスマス・おせち料理」

今年も行事食として、クリスマスには「ローストビーフ」や「いちごのショートケーキ」、大みそかには「年越しそば」、お正月には「おせち料理」を提供しました。

元日の風食ではおせちを見るなり、「お正月がきたね」と笑談され、堪能されている様子がありました。

今年も季節を感じて頂けるおいしい食事をお届けします。



デイサービス活動報告

クリスマス会



デイサービスでは、十二月二十五日にクリスマス会を開催しました。クリスマス会に向けて雰囲気作りをする為、利用者様と一緒に「雪の結晶やリースなどの飾りの準備を進めてきました。当日、飾りを見た利用者様は「良くてきたね。綺麗だね。」と喜ばれていました。

当日はクリスマスミュージックを流し、職員がサンタクロースとトナカイの被り物で登場すると、拍手で迎えてくれました。今年の催し物はリズム体操とビンゴ大会を行い、最初に「赤鼻のトナカイ」の歌に合わせて体操を行いました。難しい動きもありましたが、皆様それぞれ楽しく体を動かしている姿がとても印象的でした。そして、ビンゴ大会では、マイリンビンゴになった先着十名様に景品としてプレゼントをご用意しました。皆さん真剣な表情で読まれた数字を探したり、「穴は開けけど揃わないね。」と夢中になり、「あと景品は何個かいい？」と景品の数を心配する声が聞かれ大変盛り上がり、一喜一憂する楽しい姿に職員も朗らかな気持ちになりました。

ビンゴになった方にはサンタクロースから手渡してプレゼントを受け取り、弾ける笑顔で写真撮影をし「サンタクロースと写真が撮れて今日はとても楽しい一日になりました。」と利用者様から感謝の言葉を聞くことができました。

笑顔溢れる楽しいひと時を過ごすことができ、利用者様の心に残るクリスマス会になりました。



利用者様と職員で協力して作りました



寄贈の御礼

■阿佐見 香子様より



毎年秋の時期、アミーキ東側は小菊が一面に広がっています。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、小菊祭りも中止になってしまいました。今年是小菊見学ができませんね」と、利用者様達も残念がっていました。阿佐見様より小菊を八鉢寄贈して頂き、小菊を玄関前に飾ると「こんな立派な小菊が見られるとは思わなかった」と、利用者様達も喜ばれておりました。

ありがとうございました。

新入職員紹介

- ①名前
- ②所属
- ③趣味
- ④自己PR

① 島山 英子

② 事務室

③ ゲーム

④ 洗濯のお仕事をさせて頂きます。

不慣れですが宜しくお願い致します。



① 富岡 昌士

② 居宅

③ サッカー観戦

④ 今までは特養等に勤務してきましが、在宅ケアマネは初めてなので、初心に帰りのフレッシュな気持ちで頑張ります。

ご利用者やご家族が安心して在宅で過ごせるようケアマネとして少しでも気持ちに寄り添った支援ができるよう、精一杯やりますと思っております。



ご利用者やご家族が安心して在宅で過ごせるようケアマネとして少しでも気持ちに寄り添った支援ができるよう、精一杯やりますと思っております。



新年のご挨拶



令和三年、あけましておめでとうございませう。皆さまのお力添えを賜り、無事に新春を迎えることができましたこと深く感謝申し上げます。

昨年の世相を表す漢字は「密」と発表されました。文字通り昨年はコロナ感染対策一色の一年となりました。当施設においても、三密「密接・密集・密閉」を避け、マスク着用、手洗い消毒、面会制限などの感染対策を開始してから長期間に渡っており、ご利用者、ご家族の皆様におかれましては、大変なご不便とご苦労をおかけしております。

大切なご家族と会えず、辛く寂しい思いをされたのではないのでしょうか。まさに我慢の年だったと思います。

そのような中、私たちの心をほっこりと癒やしてくれ一つのエピソードがありました。十月末から十一月にかけて、施設の中庭に、季節はずれの桜が数多く咲いたのです。桜の華やかさ、愛らしさ、また儂さが私たちの傷つき弱った心をじんわりと拭ってくれたのです。ひととき華々しく咲いて、儂く散る、そしてまた来年、再来年・・・と、いのちを紡いでいく桜を観たときに、私たちも「止まない雨はない、晴れる日に向かって頑張ろう」と気持ちを前に向けることができました。

また、十一月二十七日には数名のご利用者を赤城のもとにつかの間のドライブへお連れしました。「二十年も実家に帰っていない」というご利用者は郷里の懐かしい風景を見ながら、昔を思い出して涙を流し、とても喜んでおられました。

今年こそはワクチンでコロナウイルスを撃退し、世界が安心して暮らせるようお願いいたします。私たち職員一同は、介護従事者としての自覚を持って、大切なご利用者を安全にお守りできるように努めて参ります。どうぞ今年一年が皆様にとって良い年でありますよう祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

施設長 加藤 綾子